

理事長あいさつ

■ 地域ニーズに対応した方策の追求

理事長 前田 敏宏



会員の皆さまには、日頃より当シルバー人材センターの事業運営にご協力いただきましてありがとうございます。

今年の梅雨入りは昨年よりも25日も早い5月16日、梅雨明けは15日早い7月17日となりました。梅雨入り当初は雨の日が多く、明けるころには猛暑日と熱帯夜続きに加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等で、皆さまもご苦労されたことと思います。

新型コロナワクチン接種は、精華町の65歳以上の希望者は全員接種済みで、65歳以上の接種率80%以上ということから、皆さまほぼ終えられていることと存じます。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、屋外作業の際には熱中症にも十分注意して無理をせず、休憩と水分の補給をたびたびとりながら就業するようにお願いいたします。

東京オリンピック・パラリンピック（実際は新型コロナウイルスの影響で1年延期しての開催）は57年ぶりに日本開催となり、コロナ禍のなか皆さまの思いはそれぞれでしょうが多くの課題、

問題に対応、解決しながら閉会しました。

高齢者が年齢にかかわらず活躍しつづけることができる「生涯現役社会」を実現するため、シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」という理念の下、地域の日常生活に密着した就業機会を皆さまへ提供するなどで、高齢者の「居場所」づくりと「生きがい」の充実と「社会参加」を目指し、地域社会の活性化と医療費や介護費・介護給付費の削減に寄与しています。

これからも国および地方自治体の施策、地域ニーズに対応した方策に重点的に取り組んで参ります。

今期に入ってから受注契約状況は53,301千円（4～7月の請負・派遣込み）で、前年同期比1.9%減（前年同期実績54,361千円）となっています。派遣先のひとつであったスーパーの契約がなくなったことが要因です。これからも役職員および会員の皆さまのご協力を今以上にお願いたします。

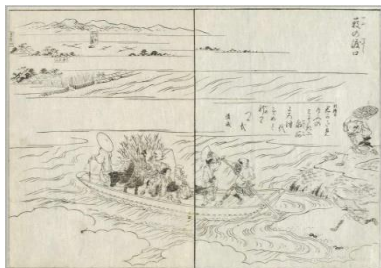
会員の皆さまには、就業時には適切なマスクの着用と手洗いの励行等、今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、健康に十分気をつけていただきますようよろしくお願いいたします。

理事会等のうごき

令和3年度 第3回理事会 令和3年8月27日（金）

第12号議案 令和3年度第1次収支補正予算について
議案を可決しました。

表紙写真のひとつ



史料『拾遺都名所図会』

＜秋の木津川、優雅な水上散歩＞

「藪の渡口（わたし）」、大和街道木津川の渡口なり。玉水の南七町ばかりに、南は祝園・吐師を経て、大和国歌姫に至る。これより南都西京に及び、郡山・法隆寺等の街道なり。「史料『拾遺都名所図会』」に掲載されています

江戸時代、精華町の木津川には五つの渡しがありました。①藪の渡し（菱田・下狛～綺田）、②？の渡し（下狛～平尾）、③開の渡し（祝園～平尾）、④？の渡し（祝園～椿井・上狛）、⑤菅井の渡し（菅井～上狛）、名前がわかっている所は3か所、不明が2か所です。それは往来人渡し船と百姓野通い船に分かれていたそうです。藪の渡しは大和郡山藩が参勤交代の時に船を手配した古文書が船問屋の宇治屋に残っていました。

その木津川の渡しの下見で川岸近くに行き写真を撮っていると羨ましい光景に出会いました。ボードに乗ってスーと通り過ぎて行かれました。専用のサーフボードの上に立ち、パドルで漕ぎながら水上を自由に移動するスポーツ、ウォータースポーツの「SUP（サップ）」と呼ぶようです。「どこまでいくんですか？ 八幡まで…！」秋空の下でゆったりとした流れを楽しまれました。

撮影日：2018/10/28

写真撮影：清水泰律 撮影場所：木津川下狛浜付近（むくのきセンター東）